

目指す学校像 「岸中 前へ！」脱コロナ令和5年度、社会に開かれた教育活動を転嫁し、一人ひとりの生徒が、明るく活気に満ち、誇りと高い志をもって輝き続ける生徒を育成する。

重点目標
 1 学びの自律化及び協働的な学びの充実
 2 教育支援・教育相談体制の充実、コロナ下における学校行事の充実
 3 本校教育活動の情報発信の充実、本校PTAとの連携強化
 4 保護者・地域の期待に応える教育活動の充実

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達	A	ほぼ達成	(8割以上)
成	B	概ね達成	(6割以上)
度	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

学校自己評価							学校運営協議会による評価		
年度目標			年度評価				実施日令和年月日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	<現状> ○全国学力・学習状況調査や市の学習状況調査では、国語、数学ともに全国、市平均と比べ大変良好な結果である。 <課題> ○市の学習状況調査では、学年が低いほど、学習に対する意欲・態度に関する質問に肯定的な回答をした生徒の割合が低い。	・学びの自律化に向けた取組 ・協働的な学びの実践状況	①スタディサブリのWEBドリルや講義動画等を効果的に活用する。 ②学習スペースを設置し広報して、多くの生徒に有効に活用させる。 ③夏季特別学習会を実施する。	①「よい授業」における生徒の肯定的な回答の状況 ②学習スペースの利用状況、定期テスト前の学習会の実施状況 ③夏季特別学習会の実施状況	①「学びの指標」アンケートにおける平均値「主体的」3.2、「探究的」3.3、「ICT」3.2、「基礎」3.5 ②定期テスト前に図書館、学習室、学習スペースを開放。開放日の平均利用者20名程度 ③夏季特物学習会を49講座実施。	B	①スクールダッシュボードの導入により効果的な利活用の方法を研究する。 ②学力に係る調査においては、市内でも高い水準にあり、今後も教育の質を維持していく。	●生徒の学力は、高い水準にある。 ●ICTを活用した授業実践に取り組み成果を挙げた。今後も、授業の質を向上する取組をお願いしたい。 ●スクールダッシュボードの導入に当たり、生徒に負担なく効果的に使用できるように取り組んでほしい。	
2	<現状> ○全国学力・学習状況調査において、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、本校は「当てはまる」と回答した生徒は、全国に比べて約10ポイント以上高かった。 <課題> ○不登校生徒に係る教職員間の共通理解・共通行動 ○脱コロナとして、従来行ってきた行事をどのように実施し、生徒たちに連帯感・一体感や成就感・達成感を感じさせるかが課題である。	・校内教育相談体制の充実 ・コロナ下における学校行事の充実	①さわやか相談室・学習室・保健室登校の生徒が目標を持って学校生活を送れるようにする。 ②教員とスクールアシスタント、保健室職員、相談室職員との連携を強化する。	①教職員が親身になって相談に乗ってくれるに対して肯定的回答9割 ②支援を必要とする生徒の情報共有状況 ③スクールカウンセラー及びさわやか相談員の活用状況	①学校評価「教職員が親身になって相談にのってくれる」の肯定的回答、生徒90.8%、保護者99.6%。 ②週1回生徒指導教育相談部会、必要に応じてケース会議を実施(今年度2回)。 ③SC、さわ相に加えて、SSW、特別支援教育ネットワークの機能を活用。	A	①生徒や保護者の困り感を敏感に感じ取り、気づくことのできる感覚をもった教職員の育成を行う。 ②外部機関との連携を行い、生徒、保護者、家庭へ多様な支援が行き届くようにする。		●外部機関と連携するケースが増え、必要な支援が行き届いている。 ●今後も、生徒の個別の課題について、丁寧に行き届いた支援をお願いしたい。 ●コロナ禍の経験を踏まえて、以前の学校行事を行うことができた。岸中でしか経験できない行事を維持継続。充実してほしい。
3	<現状> ○学校運営協議会と協働しながら、地域全体で生徒を育てていくことを共有した。 <課題> ○保護者や地域の方々が学校に来る機会を増やしていくこと。	・PTAとの連携強化 ・学校運営協議会との連携強化 ・本校教育活動・PTA活動に関する情報の発信	①PTA本部役員の方々の皆さんとの打ち合わせを行う回数を増やして行く。 ②学校運営協議会における熟議を充実する。	①PTA及び期成会の支出について整理状況 ②学校運営協議会における熟議の内容	①生徒の活動へ支援として、適正な手続きのもとご助力いただいた。 ②生徒会主催のあいさつ運動への協力について、運営協議会内で役割分担を行い、生徒の活動支援を行った。	B	①各行事の実施に係る支援を中心に、PTAの協力を得ていく。 ②教育活動の質の向上のため、学校運営において熟議を重ねいく。		
4	<現状> ○保護者や生徒、地域住民の皆様方の負託を受け、岸中学校に通う生徒のために、業務に勤しむ姿を見ることが出来る。 <課題> ○歴史と伝統ある岸中学校ゆえに、異動してきた教職員が、岸中学校の保護者や生徒の要望をつかみきれずにいる。	・教職員の教育に係る意識や知識の向上(資質の向上)	①教職員への啓発資料を作成し、掲示もしくは配付する。また、運営委員会、生徒指導委員会、職員会議における支持伝達における啓発 ②臨時的任用教員への指導(学習会)を実施する。 ③教職員輪番制による危機管理スピーチを実施する。	①啓発資料の提示回数(月に2回以上) ②教職員の研修回数(5回以上) ③危機管理に係る指導の実施回数(8回以上)	①啓発資料の提示月2回以上 ②教職員の研修回数月1回5回以上 ③危機管理に係る指導の実施8回以上	B	①学校課題研究をととして、授業方法、生徒指導教育相談的指導方法、特別支援教育への対応等について研修し、理解を深める。 ②業務の整理、効率化に取り組み、教職員の心身の健康を維持し、教育の質の向上を図る。		●ICTを活用した授業実践について、計画的に学校課題研究として取り組んだ。 ●質の高い授業、質の高い指導ができるよう、今後も、研修の機会の充実をお願いしたい。